

第1学年 生活科 年間指導計画

実施時期	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
			(1)知識及び技能の基礎	(2)思考力・判断力・ 表現力等の基礎	(3)学びに向かう力・ 人間性等		
4	(8)(1) 学校と生活 生活や出来事の 伝え合い はじめのいっぽ(4)	・きょうから1ねんせい ・がくしゅうのはじまり ・がっこうのせいかつ	入学前に好きだったことや、やったことなどを思い出したり伝え合ったりする活動を通して、小学校生活でやってみたいことを考えたり伝え合ったりすることができ、すでに知っていることや自分でできていることに気づき、期待と安心をもって学校生活を過ごすことができるようにする。			【図】 ・おしえてみんなの すきなもの	
			(1)入学前から、すでに知っていることや自分でできていることに気付く。	(2)入学前の経験と比べて、小学校生活でやってみたいことを考えたり伝え合ったりする。	(3)期待と安心をもって、学校生活を過ごそうとする。		
5	(1)学校と生活 わくわくどきどきしょうがっこう(16)	・わくわくどきどきしょうがっこう ・がっこうをたんけんしよう ・なにをかんじたかな ・じぶんたちであいにいこう ・もっとたんけんしてみよう ・なにをかんじたかな ・げんきにすごそう	学校や通学路を探検する活動を通して、学校の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々がいることに気づき、学校生活はさまざまな人や施設と関わっていること、きまりやマナーを守ると気持ちよく過ごせることがわかり、楽しく安心して学校生活を送ったり、安全な登下校をしたりできるようにする。			【国】 ・よろしくね ・たのしくかこう ・ほんがたくさん 【道】 ・がっこうだいすき 【学級】 ・みんなでなかよく すごそう ・どうぞよろしく 【学校行事】 ・交通安全教室	・明神たかおさん ・渡邊さん (駐在所) ・年長児(おさとがえり)
			(1)学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気づき、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守ってくれている人々を意識して関わる。	(3)学校の施設の様子、学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守ってくれている人々に関心をもち、楽しく学校生活を送るとともに、安全な登下校をしようとする。		
6	(7)動植物の飼育・栽培 きれいにさいてねわたしのはな(7)	・きれいにさいてねわたしのはな ・タネをまこう ・まいにちみよう ・まいにちせわをしよう ・せわをつづけよう ・たねとりをしよう ・なにをかんじたかな	アサガオなどの植物を育てる活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働かせることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、植物への親しみをもち、大切にできるようにする。			【国】 ・こんなことしたよ ・えにつきをかこう 【道】 ・たのしかったハイキング	・JA 高橋さん
			(1)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に合った世話の仕方や、植物が同じように生命をもっていることや成長していることに気付く。	(2)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって観察したり関わったりする。	(3)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとする。		
7	(5)季節の変化と生活 (6)自然や物を使った遊び きせつとなかよしはる・なつ(12)	・きせつとなかよしはる なつ ・はるをみつけにいこう ・いきものわくわくいず ・なつをかんじよう ・なにをかんじたかな ・にゅうがくしてからをふりかえろう ・なつやすみをげんきにすごそう	春や夏の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、春や夏の特徴や違いを見つけ、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議、野原や公園のきまりを守ることなどに気づき、季節の遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。			【国】 ・こんなことしたよ ・えにつきをかこう ・はなしたいなききたいな 【体育】 ・水あそび 【道】 ・たのしかったハイキング	
			(1)春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びのおもしろさや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付く。	(2)春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、春や夏の違いや特徴を見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくる。	(3)春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとする。		
9	(7)動植物の飼育・栽培 きれいにさいてねわたしのはな(3)	・たねとりをしよう ・なにをかんじたかな	アサガオなどの植物を育てる活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働かせることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、植物への親しみをもち、大切にできるようにする。			【国】 ・こんなことしたよ ・えにつきをかこう ・はなしたいなききたいな 【道】 ・たのしかったハイキング	・JA 高橋さん
			(1)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に合った世話の仕方や、植物が同じように生命をもっていることや成長していることに気付く。	(2)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって観察したり関わったりする。	(3)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとする。		
9	(7)動植物の飼育・栽培 なかよくならうね小さなともだち(10)	・なかよくならうね小さなともだち ・生きものをさがそう ・もっとなかよくなりたいね ・なにをかんじたかな	動物や虫などを育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働かせることができ、育てている生きものに合った世話の仕方や、生きものが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、生きものへの親しみをもち、大切にできるようにする。			【国】 ・としょかんはどんなところ ・はっけんしたよ 【道】 ・ハムスターのあかちゃん	
			(1)動物や虫などを育てる活動を通して、生きものに合った世話の仕方や、生きものと同じように生命をもっていることや成長していることに気付く。	(2)動物や虫などを育てる活動を通して、飼育している生きものの変化や成長の様子に関心をもって観察したり関わったりする。	(3)動物や虫などを育てる活動を通して、生きものへの親しみをもち、大切にしようとする。		

実施時期	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
			(1)知識及び技能の基礎	(2)思考力・判断力・ 表現力等の基礎	(3)学びに向かう力・ 人間性等		
4	春だ 今日から 2年生(6) (5)季節の変化と生活 (3)地域と生活	- 校ていで春をさがそう - 春のまちを歩こう	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や地域の人や場所の働きを見付け、季節ごとに自然や自分たちの生活が変化していることに気付き、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気をつけて生活しようとするができるようにする。			【国】 ・かんさつしたことを書こう 【道】 ・2年生になって	
5	(6) わたしの 野さい ぐんぐん そだて	- 野さいをそだてよう - 野さいのせわをしよう - 野さいのようすをつたえ合おう	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。			【国】 ・かんさつしたことを書こう ・サツマイモのそだて方 【算】 ・長さをはかってあらわそう	・JA 高橋さん ・松岡さん
6	まちたんけん(10) どきどき わくわく	- まちのことを話そう - たんけんの計画を立てよう - まちをたんけんをしよう - 見つけたことをつたえ合おう	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分との関わりを見付け、地域にはさまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付くとともに、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気をつけて生活したりしようとすることができるようにする。			【道】 ・あいさつ月間 【学校行事】 ・交通安全教室	・郵便局 ・谷淵組 ・JA ・あったかふれあいセンター ・池商店 ・フードセンター ・高原スーパー ・郵便局 ・虎太郎像 ・美容室 ・書道教室 ・花音sん ・駐在所
7	大作せん(10) 生きもの なかよし	- 生きもののことを話そう - 生きものをさがそう - 生きものをそだてよう - 生きもののことをつたえ合おう	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。			【音】 ・虫の声 【道】 ・かえってきたホテル	・石川さんのたんぼ
9	おもちゃ(12) うごくうごく わたしの	- つくりたいおもちゃをきめよう - うごくおもちゃをつくろう - もっとよくうごくおもちゃにしよう - あそび方をくふうしよう	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。			【国】 ・あそびかたをせつめいしよう 【道】 ・こんなときどうするのかな 【学校行事】 ・収穫祭	・1年生 ・さくらんぼ園 ・教員
10	みんなであつかう まちのしせつ(6) (4)公共物や公共施設の利用	- 図書かんをつかおう - 図書かんのことを聞いてみよう - みんなであつかうしせつのことを話し合おう	公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどが気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようとするができる。			【学級活動】 ・たくさん本を読もう	・図書館 ・あったかふれあいセンター

10	まちたんけん (12) もっと なかよし	(3)地域と生活	・たんけんの計画を立てよう ・もういちどたんけんに行こう ・見つけたことをしょうかいしよう ・まちの人に聞きに行こう ・分かったことを話し合おう	地域の人々に関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関りを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとすることができるようにする。			【学級活動】 ・なかよし集会 ・たくさん本を読む	・あったかふれあいセンター ・図書館 ・高原スーパー ・どんぐり農園 ・グリーン ・高原スーパー ・ガソリンスタンド ・川上縫製工場
11				(1)地域の人々に関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付く。	(2)地域の人々に関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けることができる。	(3)地域の人々に関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとする。		
11	わたしの野さい (4) ぐんぐんそだて	(7)動植物の飼育・栽培	・野さいをしゅうかくしよう	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。			【国】 ・ありがとうをつたえよう	・JA 高橋さん ・野瀬さん
				(1)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心を持って働きかけることができる。	(3)植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとする。		
12	わたしのつながる生活 (12)	(8)生活や出来事の伝え合い (4)公共物や公共施設の利用 (3)地域と生活	・つたえたいなまちのすてき ・もっとくわしくしらべよう ・つたえたいことをまとめよう ・まちのすてきをとどけよう	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとすることができるようにする。			【国】 ・この人をしょうかいます	・図書館 ・あったかふれあいセンター ・図書館司書さん ・明神りえさん
				(1)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付く。	(2)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりすることができる。	(3)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとする。		
1	あしたへジャンプ (27)	(9)自分の成長	・大きくなった自分のことをふりかえろう ・大きくなった自分のことをしらべよう ・自分のことをまとめよう ・ありがとうの気持ちをつたえよう	自分の生活や成長をふりかえる活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとすることができるようにする。			【国】 ・「ありがとう」をつたえよう 【道】 ・生まれるということ ・こうさとびができた 【学級活動】 ・まよめの集会をけいかくしよう ・まよめの集会	・保護者 ・幼稚園の先生 ・上級生
2				(1)自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付く。	(2)自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けることができる。	(3)自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようする。		
3								

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向かう力・ 人間性等		
4	四万十川と山の魅力	四万十川について調べよう (25)	(1) 四万十川の魅力について考えたり、実際に川へ行って体験したりしたことをもとに、課題を見出し、解決するための見通しを持たせる。	四万十川について調査する活動を通して、自分の身の回りの地域の自然を見つめ、そのよさや魅力を理解し、自分と地域の関わりを考えながら生活したり、行動したりすることができるようにする。			【国】 ・話を聞いて質問しよう 【社】 ・ごみはどこへ ・水はどこから 【理】 ・季節と生き物 【道】 ・命をつなぐ岬	・四万十川財団 (神田さん)
5			(2) 四万十川の特色について、体験や調査を通して情報を整理する。 ・鮎の放流 ・川の調査 ・水生生物調査 ・清流度調査	①自分の身の回りの地域の自然を見つめ、そのよさや魅力を理解する。 (知識)	①川の調査から問いを見いだし、四万十川を探る課題を自らつくり、解決に向けて見通しをもつ。 (課題の設定)	①課題解決に向けて、自分のよさや自分にできることに気づき、自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとする。 (自己理解・他者理解)		
6			(3) 四万十川の特色について、分類してグループごとに調べたい情報を収集する。	②四万十川にすむ生物の状況を捉えるために、生物種や生息環境に応じた方法で調査を実施する。 (技能)	②四万十川に関する事柄について、自分なりの手段を選択し、情報を収集する。 (情報の収集)	②水生生物調査や川の調査の活動を通して、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。 (主体性・協働性)		
7			(4) 調べたことをまとめ、今後の見通しを持つ。	③四万十川に対する自らの認識の高まりは、川とそこに生息する生物や、川の調査を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 (探究的な学習のよさの理解)	③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり分類したりしながら解決に向けて考える。 (整理・分析)	③四万十川の特色を知ってもらうために、自分たちができることを見つけ、問題解決のために行動に移そうとする。 (将来展望・社会参画)		
9	・ 四万十川と山に関わる産業や保全に関わる人々の思い	四万十川の魅力を感じよう (25)	(1) 四万十川の魅力を体験しながら、探究課題を設定する。 ・川遊び ・カヌー体験 ・源流点の調査 ・せいらんの調査 ・ネイチャーゲーム体験 ・鮎料理体験	四万十川の魅力を感じる活動を通して、自分の身の回りの地域の自然を見つめ、山と川との関係を理解し、四万十川の魅力を広めるためにできることを多面的・多角的な見方から話し合ったり、考えたりすることができるようにする。			【国】 ・お願いやお礼の手紙を書こう ・「和と洋新聞」を作ろう 【社】 ・自然災害にそなえるまちづくり ・昔から今へと続くまちづくり 【理】 ・雨水と地面 ・水のすがたの変化 ・水のゆくえ 【道】 ・このままにしていたら ・琵琶湖のごみ拾い	・魚族保護会 (豊田庄二さん) ・B&G 海洋センター育成士 (川田常生さん) ・学芸員 (田中勝幸さん) ・せいらん (西田善章さん) ・ネイチャーゲーム (藤村佑子さん) ・鮎料理 (豊田坂江さん) ・地域の方
10			(2) 四万十川の魅力について、インタビューや調べ学習を通して情報を収集する。	①体験活動を通して、四万十川のよさを理解する。 (知識)	①体験活動から課題を設定し、解決に向けて見通しをもつ。(課題の設定)	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意思で探究活動に取り組もうとする。 (自己理解・他者理解)		
11			(3) 集めた情報を整理し、四万十川の魅力を分析する。	②四万十川の生物や川遊び、特色などの様々な情報を比較・分類・関連付けるなど、情報収集の技能を身に付ける。 (技能)	②インタビューや調べ学習など、自分なりの手段を選択し、情報を収集する。 (情報の収集)	②体験活動やインタビューを通して、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。 (主体性・協働性)		
12			(4) 調査・体験活動を通して感じたことや考えたこと、課題をまとめ、発表する。	③四万十川の魅力に関する知識の深まりは、四万十川の魅力を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 (探究的な学習のよさの理解)	③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら解決に向けて考えることができる。 (整理・分析)	③自分と川や地域の人々等とのつながりに気付く、川の魅力を知ってもらうために自分たちができることを見直そうとする。 (将来展望・社会参画)		
1	四万十川源流点の観光客数を増やそう (20)		(1) 小単元1・2を振り返り、課題を設定する。	四万十川源流点の観光客数を増やす活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、自分たちができることを考えるとともに、地域と協力しながら地域のよさを残していこうとしたり、行動したりすることができるようにする。			【国】 ・調べたことをほうこくしよう 【社】 ・わたしたちの県のまちづくり 【理】 ・生き物の1年 【道】 ・祭りだいこ	・魚族保護会 (豊田さん) ・せいらん (西田さん) ・川田さん
2			(2) 四万十川の魅力を知ってもらうために、情報を整理、分析する。	①四万十川に関わる人の努力や工夫について理解することができる。 (知識)	①四万十川の魅力課題を設定することができる。(課題の設定)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしたりする。 (自己理解・他者理解)		
3			(3) 学習を通して学んだことをリバーマップやチラシにまとめる。	②集めた情報を比較・分類・関連付けるなど、情報収集の技能を身に付ける。 (技能)	②自分なりの手段を選択し、情報を収集することができる。 (情報の収集)	②友達と協働して探究活動に取り組もうとする。 (主体性・協働性)		
			(4) 四万十川の魅力を他の地域に向けて発信する。	③四万十川の魅力に関する知識の深まりは、四万十川の魅力を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 (探究的な学習のよさの理解)	③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり関係づけたりしながら、解決に向けて考えることができる。 (整理・分析)	③自分たちができることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。 (将来展望・社会参画)		

第6学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向かう力・ 人間性等		
4	東津野地域の産業と産業に関わる人々の思い	津野町の現状を調査し、問題点を調べよう (20)	(1)津野町の産業の実態や課題を知り、探究課題を設定する。 (2)津野町における人口減少問題の実態や課題、その改善に向けた工夫や努力について、見学や体験、インタビューを通して情報を収集する。 (3)思考ツールを用いて津野町における人口減少問題の実態や課題、その改善に向けた工夫や努力について整理し、考察する。 (4)どのようにすれば津野町の魅力を高め、広めることができることを考える。	津野町の人口減少問題について調べたり、役場の方にインタビューする活動を通して、津野町の人口減少問題の実態や課題、その改善に向けた工夫や努力を理解し、津野町の知名度を高め、広めるために自分たちにできることを考えるとともに、自分と地域の関わりを考えながら生活したり、行動したりすることができるようにする。			【国】 ・インターネットの投稿を読み比べよう ・場面に応じた言葉づかい 【道】 ・礼儀正しいふるまい 【学級】 ・挨拶とマナー ・卒業式で自分の夢を伝えよう	・津野町長 津野町役場 ・町民課 ・産業課 ・教育委員会 ・健康福祉課 ・介護福祉課 ・観光推進課 ・町づくり推進課
5				①津野町の人口減少問題の実態や課題、その改善に向けた工夫や努力を理解することができる。(知識) ②人口減少問題の課題や役場の方の思いなどの様々な情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた情報整理の技能を身に付ける。(技能) ③津野町の人口減少問題に対する自らの認識の高まりは、津野町の魅力を高め、広めるために探究的に学習してきたことの成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①津野町の魅力や課題から得た情報を結び付け、複雑な問題状況の中から課題を発見し設定することができる。(課題の設定) ②津野町の人口減少問題の実態や課題を把握するために、手段を選択して多様な方法で収集したりすることができる。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④津野町の魅力を高め、広めるために自分たちにできることを考え、伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現することができる。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしたりする。(自己理解・他者理解) ②役場の方へのインタビューなどの活動を通して、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の魅力を高め、広めるために自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)		
6								
7								
9		『わざわざ来なくなる町津野町』を目指して (30)	(1)津野町に移住してきた人の話をもとに、津野町の魅力を再確認し、魅力を高め広めるという探究課題を設定する。 (2)チームごとに分かれ、津野町の魅力を高め、広めるための計画を立て自分たちで取組を行う。また、地域の方と協力して取組を行い、準備を進める。 (3)チームごとに取り組んだことを整理し、津野町の魅力を高め、広めるための取組の成果や課題、改善策を明らかにする。 (4)再び収集した情報を再構成し、目的を果たすための取組を行う。	人口減少や少子高齢化等の問題を抱える津野町がもっと賑わうように、津野町の特産品や活性化に取り組む人々の取組を調べたり、地域の観光資源や特産品を使った商品を開発し、発信したりする活動を通して、津野町の実態や課題、その改善に向けた工夫や努力を理解し、持続可能な地域の在り方について考えるとともに、自分と地域とのかかわりを考えながら生活し、地域の一員として進んで行動することができるようにする。			【国】 ・インターネットの投稿を読み比べよう ・場面に応じた言葉づかい ・話し合って考えを深めよう ・表現を工夫する ・成長を振り返って未来へ進もう 【道】 ・礼儀正しいふるまい ・「働く」ってどういうこと？ 【外】 ・What do you want to be? 【学級】 ・挨拶とマナー ・卒業式で自分の夢を伝えよう	・観光推進課(高橋さん) ・さくら観光・バスガイド(宇都宮さん) ・つのぶらアカウント(藤村さん) ・道の駅「布施ヶ坂」 ・「大丸茶舗」(三原さん) ・お茶インストラクター(柿谷さん) ・J A「輝」(高橋さん) ・「山里」 ・「you farm」(片倉さん) ・虎太郎邸(豊田さん)
10				①地域には自然を生かした観光資源や特産品が存在し、それらを生かしたまちづくりが進められていることや活性化に向けた地域の方々の工夫や努力を理解している。(知識) ②活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめている。(技能) ③まちづくりと自分たちの生活に関連があることの理解は、特産品とまちづくりの関係を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。(探究的な学習のよさの理解)	①観光資源や特産品を生かした地域の活性化について、現状や理想との隔たりから課題を自らつくり、解決に向けて自分ができることを考えている。(課題の設定) ②津野町の魅力を高めるために必要な情報を、手段を選択して多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりしている。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関係付けたり、焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。(整理・分析) ④津野町の魅力を高め、広めるために自分たちにできることを考え、伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしたりしている。(自己理解・他者理解) ②津野町の魅力を高め、広めるための取組を考えたり実行したりする中で得た知識や友達の考え、地域の方々の考えを生かしながら友達と協働して探究活動に取り組もうとしている。(主体性・協働性) ③津野町の魅力を高め、広めるために自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとしている。(将来展望・社会参画)		
11								
12								
1	津野町の未来と自分	津野町P R く推し津野プロジェクト (20)	(1)自分たちの取組を振り返り、成果と課題、いただいた意見を整理し、課題を設定する。 (2)行政の政策や自治組織が取り組んでいることを調べ、津野町を活性化させるために、さらに自分たちにできることを考え、再度実行する。 (3)自分達の取組を整理し、その効果や津野町を活性化させる方法を具体的に分析する。 (4)未来の津野町を活性化させるための取組をまとめ、発表す	津野町の町づくりの取組を調べたり、津野町活性化のための活動を通して、津野町の実態や課題、その改善に向けた工夫や努力を理解し、地域を活性化させるために自分たちにできることを考えるとともに、自分と地域の関わりを考えながら生活したり、行動したりすることができるようにする。			【国】 ・インターネットの投稿を読み比べよう ・場面に応じた言葉づかい ・表現をくふうする ・プレゼンテーションをしよう ・成長を振り返って未来へ進もう 【道】 ・「働く」ってどういうこと？	・津野町役場 ・教育委員会 ・まちづくり推進課 ・産業課等
2				①津野町の実態や課題、その改善に向けた工夫や努力を理解することができる。(知識) ②インタビュー結果、アンケート結果などの様々な情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた情報整理の技能を身に付ける。(技能) ③未来の津野町に対する自らの認識の高まりは、津野町の活性化のために探究的に学習してきたことの成果であると	①小単元2の振り返りをもとに明らかになった情報を整理し結び付け、さらに未来の津野町を活性化させるためにどうすればよいか考え、課題を設定することができる。(課題の設定) ②津野町の行政の実態や取組を把握するために、手段を選択して多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりすることができる。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしたりする。(自己理解・他者理解) ②行政の取組を調べたり、自分達の取組を整理したりする中で、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。		

3			る。	気付く。(探究的な学習のよさの理解)	情報を比較したり関係付けたりしながら、解決に向けて考えることができる。 (整理・分析) ④未来の津野町を活性化させるために自分たちにできることを考え、伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現することができる。(まとめ・表現)	(主体性・協働性) ③未来の津野町を活性化させるために自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。 (将来展望・社会参画)	【外】 ・What do you want to be? 【学級】 ・卒業式で自分の夢を伝えよう	
---	--	--	----	--------------------	---	---	---	--

第1学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な 学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向う力・ 人間性等		
年 間	未来の津野町プロジェクト 「いつでも・いつまでも観光客がたくさん集まる町」	津野町の半分以上の人に知ってもらえるようなゆるキャラを作る（30）	(1) 小学校で探究してきた内容を振り返り、課題を設定する。 (2) 津野町の魅力や印象深い動植物などの、津野町のゆるキャラを作るために必要な情報を、アンケートなどを活用して収集する。 (3) 集めた情報を整理・分析し、グループごとに津野町のゆるキャラを作成し、品評会を行う。 (4) これまでの学習を振り返り、ゆるキャラに盛り込んだ特徴などを聞く人に伝わりやすいようにまとめる。	津野町活性化のために津野町の半分以上の人に知ってもらえるようなゆるキャラを作る取組を通して、観光地としての津野町の認知度や魅力を理解し、津野町を象徴するゆるキャラの具体的なデザインを考えるとともに津野町により多くの観光客を呼ぶために仲間と協働し、地域の一員として行動できるようにする。	①観光地としての津野町の認知度や魅力について理解している。(知識) ②津野町活性化に向けた取組として、多くの観光客を呼ぶために、相手や目的に応じて、町民の方へのアンケートによる調査や、先達からの助言要請などを適切に実施している。(技能) ③津野町の魅力を伝え、冬にも多くの観光客を呼び、津野町を有名にしたいと思う気持ちは、これまでの学習で津野町の人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解)	①観光地としての津野町の現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てることができている。(課題の設定) ②課題の解決に必要な津野町に関する情報を、目的や意図に応じて、手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積したりしている。(情報の収集) ③津野町を有名にし、冬の津野町に観光客を呼ぶにはどうしたらいいか、収集した情報をもとに、「わざわざ足を運びたくするには」という視点で整理・分析し、自分たちの提案に取り入れる要素を考えることができている。(整理・分析) ④整理・分析した情報を活用し、津野町を象徴するゆるキャラの具体的なデザインを考えることができている。(実践) ⑤津野町を有名にし、冬の津野町に観光客を呼ぶために考えた提案を、目的や相手に応じて効果的な方法を選択し、まとめ、表現することができている。(まとめ・表現)	①津野町に集まる観光客の現状について関心をもち、自分の意思で目標をもって課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 (自己理解・他者理解) ②津野町活性化のために、自分達にできることを考えるとともに、自分と違う他の意見や考えも受け入れて、参考にしようとしている。 (主体性・協働性) ③津野町を有名にし、多くの観光客を呼ぶために、自分たちにできることを考え、仲間と協働して、発信したり行動したりして地域の一員として貢献しようとしている。 (将来展望・社会参画)	【国】 ・話し方はどうか ・調べて分かったことを伝えよう ・根拠を明確にして書こう 【数】 ・データの活用 【美】 ・気持ちを伝えるデザイン ・津野町役場の人 ・地域の人 ・小学生 ・中学生 ・保護者 ・守時さん ・津野町女性消防隊の人 ・津野町歴史博物館学芸員 田中さん

10	私にとって、津野山古式神楽とは？	東津野の歴史「津野山古式神楽」を守る人々（20）	(1)「津野山古式神楽」と地域のつながりについて考え、課題を設定する。	東津野地域における、津野山古式神楽が継承されてきた地域の背景や人々の関わりについての調査を通して、津野山古式神楽を守ってきた人々の思いや願いを理解し、津野山古式神楽を支え、継承していく上での課題に広く目を向けるなどして、伝統を守り続けることの意義を考えるとともに、地域の伝統文化を守るために自分達にできることを考えられるようにする。			【国】 ・案内や報告の文章を書こう 【社】 ・原始・古代の日本と世界 【理】 ・音の性質 【家】 ・地域の食文化 【音】 ・日本の民謡 【美】 ・風神雷神、自然と人 【英】 ・Active Grammer1 You Can Do It! 【道】 ・震災を乗り越えてー復活した郷土芸能ー ・奈良筆に生きる	・津野山古式神楽保存会 嶋崎さん ・東津野の婦人会 ・神楽奉納を参観に来ている人 ・地域の人
11			(2)神楽保存会や、地域の人、2・3年生にインタビューしたり、神楽に必要な物作りの体験をしたりして情報収集を行う。	①津野山古式神楽を支え守っている人々の思いや願い、現状や課題について理解している。 (知識)	①津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てることができている。 (課題の設定)	①津野山古式神楽の歴史や地域のつながりについて関心を持ち、課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 (自己理解・他者理解)		
12			(3)インタビューや体験したことを整理分析し、津野山古式神楽とのつながりについて考える。 (4)整理分析したことをまとめて、「津野山古式神楽」と地域のつながりについて考えたことを、相手意識をもって発表する。	②津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりなどの現状を捉えるために、体験やインタビューを通し、相手や目的に応じて、情報を収集している。 (技能)	②津野山古式神楽についての様々な情報から課題解決につながる情報を、目的や意図に応じて手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積したりすることができている。 (情報の収集)	②津野山古式神楽の歴史や地域のつながりについて、自分と違う他の意見や考えも受け入れ、協働して学び合おうとしている。 (主体性・協働性)		
				③津野山古式神楽の歴史や演目の内容、保存会の思いを伝えていきたいと思う気持ちは、津野山古式神楽について探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解)	③津野山古式神楽の歴史や地域のつながりについて、分かったことや継承してきた思いを整理分析し、考えることができる。 (整理・分析)	③津野山古式神楽の歴史や地域のつながりや思いを感じて自分たちにできることを考え、仲間と協働して、発信したり行動したりして伝統文化を大切に思うことができる。 (将来展望・社会参画)		
					④整理・分析した情報を神楽発表会の場で発表することができる。 (実践)			
					⑤津野山古式神楽の歴史や地域のつながりについて自分の考えを、表現する目的や相手に応じて内容を構成するとともに適切な方法を選択し、論理的にまとめ表現することができる。 (まとめ・表現)			

第2学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な 学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向う力・ 人間性等		
4	地域の魅力や課題	東津野の環境を守る人々〜津野町のゴミのルールを伝えよう〜 (20)	(1) 前学年での学びをもとに、自分たちの考える地域の魅力と課題を整理する。	津野町の美しい環境を守るためにゴミを減らす取組を通して、自分たちが当たり前だと感じている生活は、地域の人々の支えで成り立っていることを理解し、東津野の美しい自然環境を守り未来に向けて少しでも現状を改善していく方策を考える。また、津野山古式神楽の楽や舞を練習することを通して、伝統文化を守っている人の思いに触れ、地域の一員として自分たちにできることを考えるとともに、ふるさと東津野を愛する心を育成できるようにする。			【国】 ・考えを比べながら聞こう ・郷土のよさを伝えよう ・根拠を吟味して書こう ・説得力のある提案をしよう ・話し合いで問題を検討しよう ・話し合いで問題を解決しよう 【社】 ・日本の地域的特色 ・日本の諸地域 【美】 ・メッセージを伝えるポスター 【技】 ・生物の栽培と生活の関わり	・明治安田生命の人 ・津野町役場産業課の人 ・地元企業の人 ・地域の人 ・小学生 ・中学生 ・保護者 ・鶴瓶さん
5			(2) ゴミ問題について行政の人や地元企業の人から聞くなどして、情報を収集する。	①東津野の美しい環境や自分たちを支えている人々の思いや願い、現状や課題について理解している。 (知識) ※小単元3で評価する	①東津野のゴミ問題について、現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てている。 (課題の設定)	①東津野のゴミについて関心をもち、ゴミ問題を解決するために、互いのよさを生かし課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 (自己理解・他者理解)		
6			(3) 集めた情報を整理・分析し、自分たちにできることを考える。	②東津野のゴミの減少に取り組むために、相手や目的に応じて、産業課へのインタビューや、各企業への協力要請などを適切に実施している。(技能)	②課題の解決に必要な東津野のゴミの現状に関する情報を、目的や意図に応じて手段を選択し、収集したり蓄積したりしている。 (情報の収集)	②東津野のゴミを減らす方策について、自分と違う他の意見や考えを取り入れながら協働して学び合おうとしている。 (主体性・協働性)		
7			(4) ゴミのポイ捨てを減らすために自分たちにできることを考え、実践する。	③きれいな東津野の未来につなげていきたいと思う気持ちは、地域の生活を支えている人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解) ※小単元3で評価する	③東津野のゴミを減らすためにどうしたらいいか、情報収集したことをもとに、自分たちにできることという視点で整理分析し、現状を改善していく方策を考えている。 (整理・分析) ※小単元3で評価する	③きれいな東津野の環境を未来につなげるために、自分たちにできることを考え、仲間と協働して、発信したり行動したりして地域の一員として貢献しようとしている。 (将来展望・社会参画) ※小単元3で評価する		
9			(5) 実践から学んだことや感じたことについて、相手意識をもって発表する。	④東津野のゴミを減らすために、自分たちの考えを目的や相手に応じて、論理的にまとめている。 (まとめ・表現) ※小単元3で評価する				
10	津野山古式神楽の歴史・演目・保存会	東津野の歴史「津野山古式神楽」を守る人々 (30)	(1) 「津野山古式神楽」と地域のつながりについて考え、課題を設定する。	東津野地域における、津野山古式神楽が継承されてきた地域の背景や人々の関わりについての調査を通して、津野山古式神楽を守ってきた人々の思いや願いを理解し、津野山古式神楽を支え、継承していく上での課題に広く目を向けるなどして、伝統を守り続けることの意義を考えるとともに、地域の伝統文化を守るために自分達にできることを考えられるようにする。			【国】 ・考えを比べながら聞こう ・根拠を吟味して書こう ・説得力のある提案をしよう ・話し合いで問題を検討しよう 【社】 ・開国と近代日本の歩み 【美】 ・ジャポニズム国境を越える美術 【音】 ・雅楽「越天楽」 【道】 ・和樹の夏祭り	・津野山古式神楽保存会（楽・舞の指導） ・神楽奉納を参観に来ている人 ・地域の人 ・和泉流宗家の人たち ・高知狂言の会を鑑賞しに来ている人たち
11			(2) 楽や舞の練習を通して、神楽保存会や地域の人々の思いなどの情報を収集する。	①津野山古式神楽を支えている人々の思いや願い、現状や課題について理解している。(知識)	①津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てている。 (課題の設定)	①津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて関心をもち、課題解決に向けた探究活動に取り組むことができている。 (自己理解・他者理解)		
12			(3) 楽や舞の練習を通して体験したことを整理分析し、津野山古式神楽とのつながりについて考える。	②津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりなどの現状を捉えるために、体験やインタビューを通し、相手や目的に応じて、情報を収集している。(技能)	②津野山古式神楽についての様々な情報から課題解決につながる情報を、目的や意図に応じて手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積している。 (情報の収集)	②津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、自分と違う他の意見や考えも受け入れ、協働して学び合うことができている。 (主体性・協働性)		
			(4) 整理分析したことをまとめて、「津野山古式神楽」と地域のつながりについて考えたことについて、相手意識をもって発表する。	③津野山古式神楽の歴史や演目の内容、保存会の思いを伝えていきたいと思う気持ちは、津野山古式神楽について探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解)	③津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、分かったことや継承してきた思いを整理分析し、考えている。 (整理・分析)	③津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりや思いを感じて自分たちにできることを考え、仲間と協働して、発信したり行動したりして伝統文化を大切に思うことができている。 (将来展望・社会参画)		

1	地域の魅力や課題	東津野の環境を守る人々／公園の遊具を考えよう (20)	(1) 大人から子どもまで楽しめる公園にするにはどうした いか考え、課題を設定する。	津野町の美しい環境を守るために大人から子どもまで楽しめる公園に必要な と思う遊具等を考える取組を通して、自分たちが当たり前だと感じている生活は、 地域の人々の支えで成り立っていることを理解し、東津野の美しい自然環境を 守り未来に向けて少しでも現状を改善していく方策を考えるとともに、ふるさと 東津野を愛する心を育成できるようにする。			【国】 ・依頼状やお 礼状を書こう ・話し合いで 問題を解決 しよう 【道】 ・小さな工場 の大きな仕事	・津野町役場の人
			(2) 公園に必要な 遊具を考える ために他の公園を調べるなどして必要な 情報を収集する。	① 東津野の美しい環境 や自分たちを支え守 っている人々の思い や願い、現状や課題に ついて理解している。 (知識) ※小単元3で評価する	① 公園に必要なと思う遊 具等について現状を把握し課題に対する解決 の方法や手順の見通し をもって計画を立てる ことができる。 (課題の設定)	① 公園に必要なと思う遊 具等について関心 をもち、課題解決に 向けた探究活動に取り 組むことができる。 (自己理解・他者理解)		
			(3) 公園に必要なだ と思う遊具等を「ユニバーサルデザイン」の 視点から整理 分析をする。	② 公園に必要なと思う遊 具等について、関係 者の方に話を聞いたり、インタビューをして 情報を収集できている。 (技能)	② 公園に必要なと思う遊 具等についての様々な 情報から課題解決につ ながる情報を、目的や意 図に応じて手段を選択 して収集したり、情報の 種類に応じて蓄積する ことができる。 (情報の収集)	② 大人から子どもまで 楽しめる公園にする ために、自分と違う 他の意見や考えも受け 入れ、協働して学 び合うことができる。 (主体性・協働性)		
2			(4) 自分たちの考 える公園のアイ デアをまとめて、役場の人 に発表する。	③ きれいな東津野の未 来につなげていき たいと思う気持ちは、地 域の生活を支え守っ ている人々と関わり、 探究的に学んだこと による成果であると 気付いている。 (探究的な学習のよさ の理解) ※小単元3で評価する	③ 東津野のゴミを減らす ためにどうしたらいい か、情報収集したことを もとに、自分たちにでき ることという視点で整 理分析し、現状を改善し ていく方策を考えてい る。 (整理・分析) ※小単元3で評価する	③ きれいな東津野の環 境を未来につなげる ために、自分たちに できることを考え、 仲間と協働して、発信 したり行動したり して地域の一員とし て貢献しようとして いる。 (将来展望・社会参画) ※小単元3で評価する		
			(5) 役場の人から の意見をもと に、次の計画を 立てる。		④ 東津野のゴミを減らす ために、自分たちの考え を目的や相手に応じて、 論理的にまとめている。 (まとめ・表現) ※小単元3で評価する			
3								

第3学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

地域の人・もの・ことから学び、自分の生き方や
ふるさについて自分の言葉で語れる子ども

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な 学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向う力・ 人間性等		
4	働くことの意味や地域で働く人の思い	なぜ人は働くのか(30)	(1)これまでの総合的な学習の時間にお世話になった方々が仕事に携わっていることを思い出し、なぜ人は働くのか、働く意味に焦点を当てられるような課題を設定する。	津野町(東津野地域)で生きる人の仕事や働く人々の思いについて調べる活動を通して、地域で仕事をしている人たちの支えがあってこそ自分たちの生活が成り立っていることを理解し、地域の産業や職業の特徴や工夫を考えるとともに、様々な仕事に目を向け自分と地域の関わりを自分事としてとらえることができるようにする。	①津野町の職業を通して、地域社会に広く目を向けて課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てることができる。 (課題の設定)	①自他の考えや意見のよさを生かしながら、自分の生き方を考えるために学び合おうとしている。 (自己理解・他者理解)	【国】 ・間違えやすい敬語 ・観察、分析して論じよう ・場面に応じて論じよう ・何のために「働く」のか 【道】 ・出迎え三歩、見送り七歩 ・あるレジ打ちの女性	職場体験先 ・畜産公社 ・町図書館 ・さくらんぼ園 ・中央小学校 ・にし美容室 ・Yショップ ・JA輝 ・満天の星 社会人講師 ・Naedoko.伊藤さん ・地域の応援隊和 西元さん ・中成中上さん ・梶原高校足達校長
5			(2)職場体験で実際に仕事を体験したり、インタビューしたりして、働く意味に関する情報を収集する。	①津野町で働く人々の願いや思いをもとに、自分たちの生活が地域の人の努力や工夫によって支えられていると共に、自分たちも地域を支える一員であることを理解している。 (知識)	②地域の産業や職業の特徴や工夫を考えるために必要な情報を収集する活動を、目的や対象に応じて適切に実施することができる。 (技能)	②津野町の職業を体験することにより実生活、実社会の問題に、他者と協働して、進んで取り組もうとしている。 (主体性・協働性)		
6			(3)職場体験の感想、振り返りをグループで共有し、違う職場で共通していることなどを整理して、働く意味を分析する。	②地域の人々の生活を支える一員であるという思いは、自分の生活と地域のつながりについて探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解)	③自己の生き方を考えるという視点を明確にして整理し、蓄積した情報を多面的に考察し、多様な情報の中にある特徴を見付けることができる。 (整理・分析)	③職場体験学習を通じて、自分の将来と地域との関わりを意識しながら、地域のためにできることを進んで考え、実行しようとしている。 (将来展望・社会参画)		
7			(4)体験したことや働く人から学んだこと、これからどういう生き方をしていくかをまとめ、発表する。		④他教科で培った表現力等を活用し、相手や目的に応じて工夫して表現したり、地域や自分の将来のために生かしたりすることができる。 (まとめ・表現)			
9	地域の伝統文化「津野山古式神楽」を未来につなぐ	私にとって、津野山古式神楽とは(31)	(1)小学校から学習している「津野山古式神楽」に対する自分の思いの変容に気づくことができるような課題を設定する。	「津野山古式神楽」の舞の体験活動を通して、神楽伝承に関わる課題を理解し、「津野山古式神楽」を未来へ受け継いでいく方策を考えるとともに、自分の思いの変容を自分の言葉でまとめることができるようにする。	①「津野山古式神楽」に関わる人々の思いや願い、現状や課題について理解している。 (知識)	①「津野山古式神楽」で自分が舞う演目を決め、その舞を表現する取組を通して課題に対する解決の方法や手順を見通しをもって考えることができる。 (課題の設定)	【国】 ・観察・分析して論じよう 【社】 ・現代社会と私たち 【音】 ・歌舞伎「勸進帳」 【道】 ・父は能楽師 ・昔と今を結ぶ糸 ・「稻むらの火」余話	・津野山古式神楽保存会の人たち ・神楽学習会を参観した人たち ・先輩の神楽発表会の感想文 ・森本さん
10			(2)舞の練習を通して、舞の意味や保存会の人の思い、地域の人々の思い等を情報収集する。	②「津野山古式神楽」の舞で、自分の思いや考え、願いを込めて表現するための探究の過程に応じた技能を身に付けている。 (技能)	②「津野山古式神楽」で自分が舞う演目の練習を通して、神話のストーリーや所作の意味、伝承してきた人々の思いなどの情報を収集し、適切な方法で蓄積するなど、自分たちが感じたことと重ねたり、調べたり、地域の人々や町外に住む人々の意見を聞いたりして必要な情報を取捨選択することができる。 (情報の収集)	②「津野山古式神楽保存会」の方々を中心に、それに関わる様々な人々や仲間と協働し、進んで取り組もうとしている。 (主体性・協働性)		
11			(3)3年間分の津野山古式神楽発表会の感想を比較しながら、神楽に対する思いの変容を整理・分析する。	③心を込めて「津野山古式神楽」を舞いたいと思う気持ちは、伝統文化を伝承している人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解)	③「津野山古式神楽」の魅力を整理するとともに、これを伝承していくために自分ができることに視点を定めて多様な情報を分析することができる。 (整理・分析)	③津野山古式神楽で自分が舞う演目の表現や神社での神楽奉納を見学し、地域にとって必要なことと、自分たちにできることを考えることを通して、津野山古式神楽への思いの変容を自分の言葉でまとめることができる。 (将来展望・社会参画)		
			(4)これまで学習してきた中で、津野山古式神楽に対する自分の思いの変容を自分の言葉でまとめる。		④「津野山古式神楽」の魅力を練習で積み重ねてきた舞で表現するとともに「津野山古式神楽」が時代を越えて今も存在する意味や価値、様々な人々とのつながりなど、収集した情報と自分が感じたことをまとめることができる。 (まとめ・表現)			

12	地域の伝統文化「津野山古式神楽」を未来につなぐ	自分の未来を描き、津野町を語る（9）	(1)津野町を自分の言葉で語ることができるような課題を設定する。	9年間の探究的な学習を通して、津野町を大切に思う気持ちは、地域内外の様々な人と関わりながら探究的な学びを続けてきた成果であることを理解し、津野町の魅力を再度整理するとともに、津野町と自分をつなげて考え、自分の言葉で津野町を語ることができるようにする。			【国】 ・今の思いをまとめよう ・場面に応じて話そう 【社】 ・現代の民主政治と社会 ・私たちの暮らしと経済 ・地域社会と私たち 【美】 ・暮らしやすい街づくり 【道】 ・「川端」のある暮らし ・塩むすび ・町内会デビュー ・和泉流宗家の人たち ・高知狂言の会を鑑賞しに来ている人たち ・3年間の総合のスパイラル表 ・3年間作成してきた学習新聞 ・小学校の卒業アルバム ・小学校での総合的な学習の時間の活動している写真 ・これまでの単元冊子 等
1			(2)これまでの総合的な学習の時間で探究してきた内容（津野町の伝統文化や産業、自然に関することやそれに関わる方たちの思い等）を確認し、津野町を自分の言葉で語るために必要な情報を収集する。	①津野町の伝統文化や産業に関わる人々の思いや願い、現状や課題について理解している。 （知識）	①課題に対する解決の方法や手順を、見通しをもって考えている。 （課題の設定）	①これまでの総合的な学習の時間で関わってきた人々の思いや仲間の意見などを受け入れ尊重しながら自分を見つめ直し、学び合おうとしている。 （自己理解・他者理解）	
2			(3)津野町の魅力を整理し、どのような内容で津野町を語りたいのかを思考ツールを使って分析する。	②津野町に対する自分の思いや考えを、自分の言葉で語るための探究の過程に応じた技能を身に付けている。 （技能）	②津野町の魅力に関する情報を改めて収集し、更に地域の人々の意見を聞いたりして津野町を自分の言葉で語るために必要な情報を収集、取捨選択している。 （情報の収集）	②津野町の伝統文化や産業にかかわる様々な人々や仲間と協働し、進んで取り組もうとしている。 （主体性・協働性）	
3			(4)これまで津野町について探究し、整理・分析してきた内容を自分の言葉でまとめ、自分の言葉で津野町を語る。	③津野町のことを語り、津野町のが好きだという気持ちは、伝統文化を伝承している人々や産業に関係する人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解)	③津野町の魅力を整理するとともに、津野町について自分の言葉で語るために必要な、多様な情報を分析している。 （整理・分析）	③津野町について考える中で、地域にとって必要なことと自分たちにできることを考え、自分の生き方やふるさについて自分の言葉で語れる。 (将来展望・社会参画)	